



2013年「タイヤ点検結果」の報告

一般社団法人日本自動車タイヤ協会（会長 津谷 正明）は、都道府県警察、運輸支局、東日本・中日本・西日本の各高速道路株式会社（旧 JH）、自動車及びタイヤ関連団体と協力し、2013年（1月～12月）に全国で39回の路上タイヤ点検を実施し、このほどその結果をまとめましたので、ここに発表いたします。

【タイヤ点検結果の概要】

タイヤ点検を行った車両は、高速道路（含、自動車専用道路）657台、一般道路874台の合計1,531台で、これらの車両のタイヤ整備状況は次の通りです。

なお、本タイヤ点検結果の概要及び2012年対比は、別表1～3に示しました。

1. タイヤ点検の概要（表-1）

タイヤ点検の結果、表-1の通り、点検車両1,531台のうち、タイヤに整備不良があった車両は477台、不良率31.2%となっており、2012年点検結果に比べ4.5ポイントの減少となっています。尚、道路別にみると、高速道路のタイヤ整備不良率は30.9%で2.4ポイントの減少、一般道路では31.4%で6.6ポイントの減少という結果となっています。

表-1 タイヤ点検の概要

項目	年 2013年			参考（2012年）		
	高速道路	一般道路	合 計	高速道路	一般道路	合 計
点検回数（回）	18	21	39	19	22	41
点検車両A（台）	657	874	1,531	882	865	1,747
タイヤ整備不良車両B（台）	203	274	477	294	329	623
不良率B/A（%）	30.9	31.4	31.2	33.3	38.0	35.7
対前年増減	-2.4	-6.6	-4.5			

2. 道路別・タイヤ整備不良項目の内訳（表-2）

タイヤの整備状況を項目別にみると表-2の通り、不良率1位は「空気圧不足」で20.7%、次いで「偏摩耗」5.6%「タイヤ溝不足」3.3%の順となっています。

不良率を2012年の結果と比較すると、「タイヤ溝不足」は1.5ポイント、「釘・異物踏み」0.1ポイント増加、「空気圧不足」が5.5ポイント、「偏摩耗」0.3ポイント、それぞれ減少しています。

また、道路別でみた不良率を2012年の結果と比較すると、高速道路では「空気圧不足」3.7ポイントの減少、「タイヤ溝不足」2.6ポイント増加等が見られます。一方、一般道路では「空気圧不足」8.1ポイントの減少、「タイヤ溝不足」0.5ポイントの増加等が見られます。

表－2 道路別・タイヤ整備不良項目の内訳

区分 項目	2013年						対2012年増減		
	高速道路		一般道路		合 計		高速道路	一般道路	合 計
	件数	%	件数	%	件数	%			
タイヤ溝不足	27	4.1	23	2.6	50	3.3	2.6	0.5	1.5
偏摩耗	37	5.6	49	5.6	86	5.6	-0.3	-0.3	-0.3
外 傷	3	0.5	5	0.6	8	0.5	0.0	0.1	0.0
釘・異物踏み	4	0.6	3	0.3	7	0.5	0.1	0.0	0.1
空気圧不足	117	17.8	200	22.9	317	20.7	-3.7	-8.1	-5.5
そ の 他	32	4.9	72	8.2	104	6.8	-1.1	-1.7	-1.2
計	220	-	352	-	572	-	-	-	-

注) 1. 1台の車両で複数のタイヤ整備不良（項目）がある場合がある為、タイヤ整備不良車両台数とタイヤ整備不良件数は必ずしも一致しない。

注) 2. 空気圧測定方法は、目視検査とエアゲージによる実測の両方。また、タイヤの状態としては、ホットエアーを含む。

3. 車種別・タイヤ整備不良台数の内訳（表－3）

タイヤの整備状況を車両グループ別に見ると、表－3の通り「乗用車」の31.7%（12年結果に比べ8.7ポイント減少）、「貨物車」27.9%（同、7.7ポイント増加）となっております。

「特種車」を含めた全体では、2012年の結果に比べ4.5ポイント減少となっています。

グループ別の整備状況としては、「乗用車グループ」で、普通乗合（2）以外で減少、また「貨物車グループ」では、普通貨物（1）、小型貨物（4）が増加となっています。

表－3 車種別・タイヤ整備不良台数の内訳

車 種	点検車両（台）	不良車両（台）	不良率（%）	対2012年増減
乗 用 車	普通乗合（2）	43	12	27.9
	普通乗用（3）	330	79	23.9
	小型乗用（5.7）	596	205	34.4
	軽（5.7）	281	100	35.6
小 計		1,250	396	31.7
貨 物 車	普通貨物（1）	96	32	33.3
	小型貨物（4）	85	17	20.0
	軽（4.6）	84	25	29.8
	小 計	265	74	27.9
特種（8）		16	7	43.8
合 計		1,531	477	31.2
				-4.5

注) () 内数字は、車種ナンバーを示す。

4. 車種別・タイヤ整備不良項目の内訳（表-4）

車両グループ別・項目別ワースト1位は表-4の通り、乗用車「空気圧不足」23.4%、貨物車「タイヤ溝不足」10.9%となっています。

表-4 車種別・タイヤ整備不良項目の内訳

車種	項目	タイヤ溝不足		偏摩耗		外傷		釘・異物踏み		空気圧不足		その他		合計
		件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	
乗用車	普通乗合(2)	5	11.6	7	16.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	12
	普通乗用(3)	0	0.0	13	3.9	2	0.6	0	0.0	55	16.7	22	6.7	92
	小型乗用(5.7)	8	1.3	30	5.0	2	0.3	5	0.8	159	26.7	44	7.4	248
	軽(5.7)	4	1.4	20	7.1	1	0.4	1	0.4	78	27.8	24	8.5	128
	小計	17	1.4	70	5.6	5	0.4	6	0.5	292	23.4	90	7.2	480
貨物車	普通貨物(1)	19	19.8	9	9.4	3	3.1	0	0.0	0	0.0	4	4.2	35
	小型貨物(4)	5	5.9	2	2.4	0	0.0	0	0.0	7	8.2	5	5.9	19
	軽(4.6)	5	6.0	0	0.0	0	0.0	1	1.2	18	21.4	3	3.6	27
	小計	29	10.9	11	4.2	3	1.1	1	0.4	25	9.4	12	4.5	81
特種(8)		4	25.0	5	31.3	0	0	0	0.0	0	0.0	2	12.5	11
合計		50	3.3	86	5.6	8	0.5	7	0.5	317	20.7	104	6.8	572

- 注) 1. 1台の車両で複数のタイヤ整備不良（項目）がある場合がある為、タイヤ整備不良台数とタイヤ整備不良件数は必ずしも一致しない。
- 注) 2. 空気圧測定方法は、目視検査とエアゲージによる実測の両方。また、タイヤの状態としては、ホットエアーを含む。

【まとめ】

今回の結果をみると、「空気圧不足」が2012年結果に比べ5.5ポイント減少しましたが、整備不良率でワースト1位(20.7%)となっています。

また、「タイヤ溝不足」は、増加しています。

当会では今後も引き続き「4月8日タイヤの日」をはじめとした、年間を通してのタイヤ点検実施に加え、タイヤ使用管理リーフレット配布等の安全啓発活動を展開していくこととしています。

本件に関するお問い合わせ先

技術部 : 柴田

電話 03-3435-9092

1. 2013年（1－12月）路上タイヤ点検結果

一般社団法人 日本自動車タイヤ協会

年別 道路別 点検項目	2012年				2013年						
	高速道路	一般道路	計	高速道路		対前年増減	一般道路	対前年増減	計	対前年増減	
					対前年増減			対前年増減			
点検回数（回）	19	22	41	18	-1	21	-1	39	-2		
点検車両A（台）	882	865	1,747	657	-225	874	9	1,531	-216		
タイヤ整備不良車両B（台）	294	329	623	203	-91	274	-55	477	-146		
不良率B/A（%）	33.3	38.0	35.7	30.9	-2.4	31.4	-6.6	31.2	-4.5		
件数・不良率		件数	不良率	件数	不良率	件数	不良率		件数	不良率	
タイヤ整備不良の内訳							件数	% 増減	件数 % 増減		
タイヤ溝不足	13	1.5	18	2.1	31	1.8	27 4.1 2.6	23 2.6 0.5	50 3.3 1.5		
偏摩耗	52	5.9	51	5.9	103	5.9	37 5.6 -0.3	49 5.6 -0.3	86 5.6 -0.3		
外傷（コードに達するもの）	4	0.5	4	0.5	8	0.5	3 0.5 0.0	5 0.6 0.1	8 0.5 0.0		
釘・異物踏み	4	0.5	3	0.3	7	0.4	4 0.6 0.1	3 0.3 0.0	7 0.5 0.1		
空気圧不足	190	21.5	268	31.0	458	26.2	117 17.8 -3.7	200 22.9 -8.1	317 20.7 -5.5		
その他	53	6.0	86	9.9	139	8.0	32 4.9 -1.1	72 8.2 -1.7	104 6.8 -1.2		
計	316	-	430	-	746	-	220 -	-	352 -	572 -	-

- 注) 1. 1台の車両で複数のタイヤ整備不良（項目）がある場合があり、タイヤ整備不良車両台数とタイヤ整備不良件数は必ずしも一致しない。
2. 不良率：「タイヤ整備不良車両台数又は不良項目件数」／「点検車両台数」 × 100
3. 高速道路とは自動車専用道路を含む。
4. 空気圧測定方法は、目視検査とエアゲージによる実測の両方。また、タイヤの状態としては、ホットエアーを含む。

2. 2013年（1-12月）路上タイヤ点検・車種別項目別結果

一般社団法人 日本自動車タイヤ協会

道路別	項目 車種No.	点検車両 (A)	タイヤ整備 不良車両 (B)	不良率 (%) (B/A)	タイヤ整備不良の項目内訳												計	
					タイヤ溝不足		偏摩耗		外 傷 (コードに達するもの)		釘・異物踏み		空気圧不足		その他			
					件 数	不良率	件 数	不良率	件 数	不良率	件 数	不良率	件 数	不良率	件 数	不良率		
高速道路	乗用車	普通乗合(2)	43	12	27.9	5	11.6	7	16.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	12
		普通乗用(3)	161	30	18.6	0	0.0	5	3.1	0	0.0	0	0.0	19	11.8	7	4.3	31
		小型乗用(5.7)	281	100	35.6	1	0.4	11	3.9	0	0.0	4	1.4	79	28.1	13	4.6	108
		軽(5.7)	61	13	21.3	0	0.0	2	3.3	0	0.0	0	0.0	10	16.4	1	1.6	13
		計	546	155	28.4	6	1.1	25	4.6	0	0.0	4	0.7	108	19.8	21	3.8	164
	貨物車	普通貨物(1)	53	24	45.3	14	26.4	6	11.3	3	5.7	0	0.0	0	0.0	4	7.5	27
		小型貨物(4)	33	10	30.3	2	6.1	1	3.0	0	0.0	0	0.0	5	15.2	4	12.1	12
		軽(4.6)	14	7	50.0	1	7.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	4	28.6	1	7.1	6
		計	100	41	41.0	17	17.0	7	7.0	3	3.0	0	0.0	9	9.0	9	9.0	45
18回	特種(8)		11	7	63.6	4	36.4	5	45.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	18.2	11
	合計		657	203	30.9	27	4.1	37	5.6	3	0.5	4	0.6	117	17.8	32	4.9	220
一般道路	乗用車	普通乗合(2)	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
		普通乗用(3)	169	49	29.0	0	0.0	8	4.7	2	1.2	0	0.0	36	21.3	15	8.9	61
		小型乗用(5.7)	315	105	33.3	7	2.2	19	6.0	2	0.6	1	0.3	80	25.4	31	9.8	140
		軽(5.7)	220	87	39.5	4	1.8	18	8.2	1	0.5	1	0.5	68	30.9	23	10.5	115
		計	704	241	34.2	11	1.6	45	6.4	5	0.7	2	0.3	184	26.1	69	9.8	316
	貨物車	普通貨物(1)	43	8	18.6	5	11.6	3	7.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	8
		小型貨物(4)	52	7	13.5	3	5.8	1	1.9	0	0.0	0	0.0	2	3.8	1	1.9	7
		軽(4.6)	70	18	25.7	4	5.7	0	0.0	0	0.0	1	1.4	14	20.0	2	2.9	21
		計	165	33	20.0	12	7.3	4	2.4	0	0.0	1	0.6	16	9.7	3	1.8	36
21回	特種(8)		5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
	合計		874	274	31.4	23	2.6	49	5.6	5	0.6	3	0.3	200	22.9	72	8.2	352
合計	乗用車	普通乗合(2)	43	12	27.9	5	11.6	7	16.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	12
		普通乗用(3)	330	79	23.9	0	0.0	13	3.9	2	0.6	0	0.0	55	16.7	22	6.7	92
		小型乗用(5.7)	596	205	34.4	8	1.3	30	5.0	2	0.3	5	0.8	159	26.7	44	7.4	248
		軽(5.7)	281	100	35.6	4	1.4	20	7.1	1	0.4	1	0.4	78	27.8	24	8.5	128
		計	1,250	396	31.7	17	1.4	70	5.6	5	0.4	6	0.5	292	23.4	90	7.2	480
	貨物車	普通貨物(1)	96	32	33.3	19	19.8	9	9.4	3	3.1	0	0.0	0	0.0	4	4.2	35
		小型貨物(4)	85	17	20.0	5	5.9	2	2.4	0	0.0	0	0.0	7	8.2	5	5.9	19
		軽(4.6)	84	25	29.8	5	6.0	0	0.0	0	0.0	1	1.2	18	21.4	3	3.6	27
		計	265	74	27.9	29	10.9	11	4.2	3	1.1	1	0.4	25	9.4	12	4.5	81
39回	特種(8)		16	7	43.8	4	25.0	5	31.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	12.5	11
	合計		1,531	477	31.2	50	3.3	86	5.6	8	0.5	7	0.5	317	20.7	104	6.8	572

- 注) 1. 1台の車両で複数のタイヤ整備不良（項目）がある場合があり、タイヤ整備不良車両台数とタイヤ整備不良件数は必ずしも一致しない。
2. 不良率：「タイヤ整備不良車両台数又は不良項目件数」／「点検車両台数」×100
3. 高速道路とは自動車専用道路を含む。
4. 空気圧測定方法は、目視検査とエアゲージによる実測の両方。また、タイヤの状態としては、ホットエアーを含む。

3. 2012年、2013年(1~12月)路上タイヤ点検不良項目別結果比較

一般社団法人 日本自動車タイヤ協会

道路別	項目 車種NO.	点検車両中の タイヤ整備不良			タイヤ整備不良の項目内訳																		
					タイヤ溝不足			偏摩耗			外傷 (コードに達するもの)			釘・異物踏み			空気圧不足			その他			
		12年	13年	増減	12年	13年	増減	12年	13年	増減	12年	13年	増減	12年	13年	増減	12年	13年	増減	12年	13年	増減	
高速道路	乗用車	普通乗合(2)	18.6	27.9	9.3	4.7	11.6	6.9	14.0	16.3	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		普通乗用(3)	33.7	18.6	-15.1	0.5	0.0	-0.5	2.9	3.1	0.2	1.0	0.0	-1.0	0.0	0.0	0.0	23.4	11.8	-11.6	6.8	4.3	-2.5
		小型乗用(5.7)	36.4	35.6	-0.8	0.7	0.4	-0.3	4.4	3.9	-0.5	0.2	0.0	-0.2	0.5	1.4	0.9	28.3	28.1	-0.2	5.4	4.6	-0.8
		軽(5.7)	41.8	21.3	-20.5	0.0	0.0	0.0	15.2	3.3	-11.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.5	16.4	-0.1	13.9	1.6	-12.3
		計	35.1	28.4	-6.7	0.8	1.1	0.3	5.7	4.6	-1.1	0.4	0.0	-0.4	0.3	0.7	0.4	24.0	19.8	-4.2	6.4	3.8	-2.6
	貨物車	普通貨物(1)	29.4	45.3	15.9	13.7	26.4	12.7	13.7	11.3	-2.4	2.0	5.7	3.7	2.0	0.0	-2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.5	7.5
		小型貨物(4)	18.2	30.3	12.1	0.0	6.1	6.1	4.5	3.0	-1.5	0.0	0.0	0.0	1.5	0.0	-1.5	10.6	15.2	4.6	3.0	12.1	9.1
		軽(4.6)	36.0	50.0	14.0	0.0	7.1	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	28.0	28.6	0.6	16.0	7.1	-8.9
		計	25.4	41.0	15.6	4.9	17.0	12.1	7.0	7.0	0.0	0.7	3.0	2.3	1.4	0.0	-1.4	9.9	9.0	-0.9	4.2	9.0	4.8
	特種(8)		0.0	63.6	63.6	0.0	36.4	36.4	0.0	45.5	45.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	18.2	18.2
	合計		33.3	30.9	-2.4	1.5	4.1	2.6	5.9	5.6	-0.3	0.5	0.5	0.0	0.5	0.6	0.1	21.5	17.8	-3.7	6.0	4.9	-1.1
一般道路	乗用車	普通乗合(2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		普通乗用(3)	41.5	29.0	-12.5	0.5	0.0	-0.5	6.0	4.7	-1.3	0.5	1.2	0.7	0.5	0.0	-0.5	34.4	21.3	-13.1	8.7	8.9	0.2
		小型乗用(5.7)	45.7	33.3	-12.4	1.5	2.2	0.7	4.9	6.0	1.1	0.0	0.6	0.6	0.7	0.3	-0.4	41.6	25.4	-16.2	13.1	9.8	-3.3
		軽(5.7)	54.6	39.5	-15.1	1.2	1.8	0.6	6.1	8.2	2.1	0.0	0.5	0.5	0.0	0.5	0.5	52.1	30.9	-21.2	16.0	10.5	-5.5
		計	46.7	34.2	-12.5	1.1	1.6	0.5	5.5	6.4	0.9	0.2	0.7	0.5	0.5	0.3	-0.2	42.1	26.1	-16.0	12.5	9.8	-2.7
	貨物車	普通貨物(1)	17.6	18.6	1.0	5.9	11.6	5.7	6.7	7.0	0.3	1.7	0.0	-1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	-5.0
		小型貨物(4)	10.7	13.5	2.8	2.7	5.8	3.1	6.7	1.9	-4.8	1.3	0.0	-1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	3.8	3.8	0.0	1.9	1.9
		軽(4.6)	35.0	25.7	-9.3	0.0	5.7	5.7	5.0	0.0	-5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	1.4	40.0	20.0	-20.0	10.0	2.9	-7.1
		計	16.8	20.0	3.2	4.2	7.3	3.1	6.5	2.4	-4.1	1.4	0.0	-1.4	0.0	0.6	0.6	3.7	9.7	6.0	3.7	1.8	-1.9
	特種(8)		16.7	0.0	-16.7	5.6	0.0	-5.6	8.3	0.0	-8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.8	0.0	-2.8	2.8	0.0	-2.8
	合計		38.0	31.4	-6.6	2.1	2.6	0.5	5.9	5.6	-0.3	0.5	0.6	0.1	0.3	0.3	0.0	31.0	22.9	-8.1	9.9	8.2	-1.7
合 計	乗用車	普通乗合(2)	17.8	27.9	10.1	4.4	11.6	7.2	13.3	16.3	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		普通乗用(3)	37.4	23.9	-13.5	0.5	0.0	-0.5	4.4	3.9	-0.5	0.8	0.6	-0.2	0.3	0.0	-0.3	28.6	16.7	-11.9	7.7	6.7	-1.0
		小型乗用(5.7)	40.1	34.4	-5.7	1.0	1.3	0.3	4.6	5.0	0.4	0.1	0.3	0.2	0.6	0.8	0.2	33.5	26.7	-6.8	8.5	7.4	-1.1
		軽(5.7)	50.4	35.6	-14.8	0.8	1.4	0.6	9.1	7.1	-2.0	0.0	0.4	0.4	0.0	0.4	0.4	40.5	27.8	-12.7	15.3	8.5	-6.8
		計	40.4	31.7	-8.7	1.0	1.4	0.4	5.6	5.6	0.0	0.3	0.4	0.1	0.4	0.5	0.1	32.2	23.4	-8.8	9.2	7.2	-2.0
	貨物車	普通貨物(1)	21.2	33.3	12.1	8.2	19.8	11.6	8.8	9.4	0.6	1.8	3.1	1.3	0.6	0.0	-0.6	0.0	0.0	0.0	3.5	4.2	0.7
		小型貨物(4)	14.2	20.0	5.8	1.4	5.9	4.5	5.7	2.4	-3.3	0.7	0.0	-0.7	0.7	0.0	-0.7	5.0	8.2	3.2	1.4	5.9	4.5
		軽(4.6)	35.6	29.8	-5.8	0.0	6.0	6.0	2.2	0.0	-2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	1.2	33.3	21.4	-11.9	13.3	3.6	-9.7
		計	20.2	27.9	7.7	4.5	10.9	6.4	6.7	4.2	-2.5	1.1	1.1	0.0	0.6	0.4	-0.2	6.2	9.4	3.2	3.9	4.5	0.6
	特種(8)		14.3	43.8	29.5	4.8	25.0	20.2	7.1	31.3	24.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.4	0.0	-2.4	2.4	12.5	10.1
	合計		35.7	31.2	-4.5	1.8	3.3	1.5	5.9	5.6	-0.3	0.5	0.5	0.0	0.4	0.5	0.1	26.2	20.7	-5.5	8.0	6.8	-1.2

注) 1. 1台の車両で複数のタイヤ整備不良(項目)がある場合があり、タイヤ整備不良車両台数とタイヤ整備不良件数は必ずしも一致しない。

2. 不良率:「タイヤ整備不良車両台数又は不良項目件数」/「点検車両台数」×100

3. 高速道路とは自動車専用道路を含む。

4. 空気圧測定方法は、目視検査とエアゲージによる実測の両方。また、タイヤの状態としては、ホットエアーを含む。